

山下Topo洋平

yamashita “Topo” youhei



ジャンル

南米の民族楽器「ケーナ」「サンポーニャ」や現地のリズムを使ったオリジナルの音楽および南米の民族音楽。日本の曲や世界各国のあらゆる曲の演奏も可能。

編成

ケーナとサンポーニャがメインで、その時によってピアノ、ギター、ベース、パーカッション、バイオリン、チェロ、等とのアンサンブル

webサイト等

ホームページ：<http://topoyohei.com/>

シラスチャンネル：<https://shirasu.io/c/topo>

YouTube：<https://www.youtube.com/user/hamburg5800>

プロフィール

ケーナ奏者。1976年生まれ、19才でプロデビュー。

ケーナ発祥の地、南米ボリビアへ訪れ現地で活動、南米音楽の真髄に触れる。

現在はソリストとして、ケーナの魅力と南米音楽のグルーブを最大限に活かしつつ、自己のオリジナル音楽を追求。

民族性、現代性、大衆性、即興性を併せ持つ強靱な音楽を確立している。

アルバム『Tierra』でビクターよりメジャーデビュー。

「単なる民族音楽という枠を超えた普遍的な魅力に満ちている」（CDジャーナル・レビューより抜粋）、「南米の素朴な笛ケーナを様々な笛の美質をミックスした普遍的な楽器に変貌させる奏者」（管楽器専門誌「Pipers」より抜粋）と評されている。

洗足学園音楽大学ワールドミュージックコース講師。日本の音楽大学で初めてケーナとサンポーニャおよび南米フォルクローレの講師となる。

活動状況

自己のライブ活動、映画・ドラマ・アニメ・CM・舞台音楽のレコーディングなど。

田無に自スタジオを所有し、そこでレッスンやワークショップ、小規模なイベントも行っている。

西東京市との関わり

在住

コメント

文化＝音楽＝人間そのものだと思っています。

どこかの誰かの真似ごとではなく、今この瞬間を生きる私自身のありのままの表現をしています。

「ジャンルを超えた」というと安っぽくなってしまいますが、

文化を愛する、音楽を愛する、というのは一人一人の人間を愛するという事です。

私から生まれる今ここにしかない音楽を楽しんでいただけたら幸いです。

音楽の素晴らしさ、人間一人一人が生きることがどれだけ素晴らしいことなのか、全身全霊で表現することをお約束します。

もちろん私に関わって来た南米の文化を私なりの視点から伝えることもできます。

知らない外国の文化に出会うことも人生の豊かさと言えるでしょう。

その他特記事項（条件・要望）

こちらで音響機材を準備することも可能。その場合は駐車スペース必須です。